

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月4日

上場会社名 理想科学工業株式会社
 コード番号 6413 URL http://www.riso.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽山 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 河合 伸雄
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東 JQ

TEL 03-5441-6611

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	22,042		929		1,459		881	
20年3月期第1四半期	22,077	3.4	1,115	25.1	1,567	2.9	890	7.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	33.68	32.09
20年3月期第1四半期	33.64	31.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	114,268	70,018	61.1	2,676.29
20年3月期	114,795	69,796	60.7	2,650.67

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 69,842百万円 20年3月期 69,630百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		0.00		40.00	40.00
21年3月期					
21年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	43,200		1,300		1,500		800		30.66
通期	93,500	0.9	3,600	33.3	5,430	15.3	3,560	114.7	135.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	28,053,166株	20年3月期	28,053,166株
期末自己株式数	21年3月期第1四半期	1,956,486株	20年3月期	1,784,156株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	26,170,223株	20年3月期第1四半期	26,465,494株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料において、平成20年5月9日に発表した第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。なお、通期の業績予想については、現時点では修正していません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油、鉱物資源、穀物等の国際的な原材料高騰の影響等により企業収益が減少し設備投資が鈍化するなど、景気の減速感が強まる展開となりました。

このような経済状況のもと当社グループは、新規顧客の獲得を重要課題とする第三次中期経営計画（Riso Vision 10）を策定し、その2年目にあたる当連結会計期間においては、「次世代を見据えた商品開発の遂行」「インクジェット事業における収益基盤の構築」「孔版事業における収益の確保」「海外販売子会社の活性化と体質転換」の4項目を重点課題に掲げて運営しております。

当第1四半期連結会計期間の売上高は、前年同期に比べドル安円高の為替の影響を受け220億4千2百万円（前年同期比0.2%減）となり、営業利益は9億2千9百万円（同16.7%減）、経常利益は14億5千9百万円（同6.9%減）、四半期純利益は8億8千1百万円（同1.0%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の米ドル及びユーロの期中平均為替レートはそれぞれ104.55円（同16.24円の円高）、163.43円（同0.71円の円安）となり、為替の影響を差引いた売上高は前年同期に比べ4.0%の増収となります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

①印刷機器関連事業

当社グループは、印刷機器関連事業として主にインクジェット事業（高速カラープリンター）と孔版事業（デジタル印刷機）を行っております。高速カラープリンターの販売ではプリント速度と低ランニングコストで差別化を図り、国内・海外ともに着実に売上を伸ばすことができました。一方、デジタル印刷機の販売では海外では売上が前年を下回りましたが、国内は本体の設置に注力し売上はほぼ横ばいで推移することができました。この結果、印刷機器関連事業の売上高は217億6千2百万円（同0.2%減）、営業利益は7億8百万円（同21.0%減）となりました。

②不動産その他事業

当社グループは、不動産その他事業として表参道ビル・新大阪ビルの賃貸を中心とした不動産事業と保険代理業を行っております。

不動産事業、保険代理業ともに計画どおり推移し、不動産その他事業の売上高は2億7千9百万円（同0.6%増）、営業利益は2億2千万円（同1.0%増）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

①日本（国内及びアジア代理店向販売）

国内では、高速カラープリンターは順調に売上を伸ばし、デジタル印刷機の売上はアジア代理店向販売も含めほぼ前年並みに推移しました。この結果、売上高は不動産その他事業も含め120億2千6百万円（同1.8%増）となりました。営業利益は為替の影響と人件費等販売管理費の増加により6億1千3百万円（同46.5%減）となりました。

②米州（米州子会社）

米州では、高速カラープリンターは売上を伸ばしたものの、デジタル印刷機の売上は前年を下回りました。この結果、売上高は25億5千1百万円（同11.6%減）となりました。営業損失は2億5千1百万円（前年同期は2億5千9百万円の営業損失）となりました。

③欧州（欧州子会社）

欧州では、高速カラープリンターは順調に売上を伸ばし、デジタル印刷機の売上は前年を下回りました。この結果、売上高は54億1千5百万円（前年同期比4.2%増）となりました。営業利益は販売拡大を目的とした人件費等の経費が増加したため4千8百万円（同70.7%減）となりました。

④アジア（アジア・中国子会社）

アジアでは、為替の影響を受け売上が減少しました。この結果、売上高は20億4千9百万円（同5.9%減）、営業利益は1億7千万円（同2.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

資産合計は5億2千6百万円減少し、1,142億6千8百万円となりました。また純資産合計は2億2千2百万円増加し、700億1千8百万円となりました。この結果自己資本比率は0.4ポイント増加し、61.1%となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金44億8千3百万円、商品及び製品7億7千7百万円がそれぞれ増加し、受取手形及び売掛金23億5千万円、有価証券32億9千5百万円がそれぞれ減少しました。また負債の部では、支払手形及び買掛金2億3千5百万円が増加し、賞与引当金7億4千8百万円、未払法人税等3億1千6百万円がそれぞれ減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は、27億7千5百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益14億5千9百万円、減価償却費6億3千9百万円、売上債権の減少額32億3千9百万円、賞与引当金の減少額7億5千万円、未払金の減少額5億3千万円、法人税等の支払額7億2千4百万円によるものです。

投資活動の結果支出した資金は、2億1千2百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億7千4百万円、無形固定資産の取得による支出2億2千7百万円、定期預金の払戻による収入2億5千9百万円によるものです。

財務活動の結果支出した資金は、14億5千7百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減少額1億6千8百万円、自己株式の取得による支出2億4千5百万円、配当金の支払額10億4千6百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月9日に発表した平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の連結業績予想につきまして以下のとおり修正いたしました。

(1) 第2四半期累計期間の連結業績予想

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	42,400	1,300	1,390	710	27.03円
今回修正(B)	43,200	1,300	1,500	800	30.66円
増減額(B-A)	800	—	110	90	—
増減率(%)	1.9%	—	7.9%	12.7%	—
(ご参考)前期第2四半期累計実績(平成19年9月)	43,535	2,279	2,358	1,321	49.93円

(2) 修正の理由

当第1四半期の期中平均為替レートを考慮し第2四半期の想定為替レートを見直したことにより、前回発表した業績予想を修正いたしました。

なお、第2四半期累計期間業績予想における為替レートは、米ドル105円、ユーロ164円を前提としております。

(3) 平成21年3月期 通期業績予想について

通期の業績予想については、為替相場などが先行き不透明であるため、現時点では修正しておりません。なお、下期における想定為替レートは期初の米ドル100円、ユーロ152円を変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- ②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ47百万円減少しております。

- ③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ12百万円増加しております。

また、期首の利益剰余金から131百万円を減算したことに伴い、利益剰余金が同額減少しております。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,396	24,913
受取手形及び売掛金	13,797	16,147
有価証券	8,978	12,273
商品及び製品	11,822	11,045
原材料	1,340	1,330
仕掛品	533	571
繰延税金資産	2,580	2,670
その他	1,650	1,739
貸倒引当金	298	311
流動資産合計	69,802	70,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,581	18,538
減価償却累計額	10,981	10,862
建物及び構築物 (純額)	7,600	7,676
機械装置及び運搬具	8,103	7,902
減価償却累計額	6,491	6,247
機械装置及び運搬具 (純額)	1,611	1,655
工具、器具及び備品	16,744	16,662
減価償却累計額	15,208	15,164
工具、器具及び備品 (純額)	1,535	1,497
土地	18,053	18,053
建設仮勘定	64	24
その他	12,694	12,613
減価償却累計額	8,433	8,505
その他 (純額)	4,261	4,107
有形固定資産合計	33,127	33,014
無形固定資産		
ソフトウェア	1,761	1,807
のれん	-	137
その他	435	363
無形固定資産合計	2,197	2,309
投資その他の資産		
投資有価証券	2,374	2,279
長期貸付金	288	299
繰延税金資産	1,141	1,217
その他	5,637	5,559
貸倒引当金	300	265
投資その他の資産合計	9,141	9,089
固定資産合計	44,466	44,413
資産合計	114,268	114,795

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,440	14,205
短期借入金	5,557	5,389
1年内返済予定の長期借入金	10	9
1年内償還予定の転換社債	13,286	13,286
未払法人税等	626	942
賞与引当金	811	1,559
役員賞与引当金	9	28
製品保証引当金	134	125
その他	5,969	5,925
流動負債合計	40,845	41,472
固定負債		
長期借入金	101	98
退職給付引当金	2,801	2,785
役員退職慰労引当金	238	229
持分法適用に伴う負債	66	226
その他	195	185
固定負債合計	3,404	3,526
負債合計	44,250	44,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	42,830	43,131
自己株式	3,455	3,210
株主資本合計	68,269	68,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	896	831
為替換算調整勘定	676	16
評価・換算差額等合計	1,573	815
少数株主持分	175	165
純資産合計	70,018	69,796
負債純資産合計	114,268	114,795

(2) 四半期連結損益計算書
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
売上高	22,042
売上原価	10,936
売上総利益	11,105
販売費及び一般管理費	10,176
営業利益	929
営業外収益	
受取利息	80
受取配当金	19
持分法による投資利益	240
為替差益	146
その他	187
営業外収益合計	674
営業外費用	
支払利息	117
その他	27
営業外費用合計	145
経常利益	1,459
税金等調整前四半期純利益	1,459
法人税等	566
少数株主利益	11
四半期純利益	881

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,459
減価償却費	639
持分法による投資損益(は益)	240
退職給付引当金の増減額(は減少)	15
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9
役員賞与引当金の増減額(は減少)	18
貸倒引当金の増減額(は減少)	9
賞与引当金の増減額(は減少)	750
受取利息及び受取配当金	100
支払利息	117
為替差損益(は益)	58
売上債権の増減額(は増加)	3,239
たな卸資産の増減額(は増加)	132
仕入債務の増減額(は減少)	272
未払金の増減額(は減少)	530
その他	42
小計	3,526
利息及び配当金の受取額	91
利息の支払額	117
法人税等の支払額	724
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	1
定期預金の払戻による収入	259
有形固定資産の取得による支出	274
無形固定資産の取得による支出	227
貸付金の回収による収入	18
その他	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	212
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	168
長期借入れによる収入	3
長期借入金の返済による支出	1
自己株式の取得による支出	245
配当金の支払額	1,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	313
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,418
現金及び現金同等物の期首残高	30,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,846

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	印刷機器関連事業 (百万円)	不動産その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	21,762	279	22,042	—	22,042
(2) セグメント間の内部売上高	—	21	21	(21)	—
計	21,762	301	22,064	(21)	22,042
営業利益	708	220	929	—	929

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,026	2,551	5,415	2,049	22,042	—	22,042
(2) セグメント間の内部売上高	5,621	—	119	1,848	7,589	(7,589)	—
計	17,648	2,551	5,535	3,897	29,631	(7,589)	22,042
営業利益又は営業損失(△)	613	△251	48	170	580	348	929

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	2,551	5,466	2,528	10,546
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	22,042
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	11.6	24.8	11.5	47.9

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	22,077
II 売上原価	10,690
売上総利益	11,386
III 販売費及び一般管理費	10,271
営業利益	1,115
IV 営業外収益	
受取利息	59
受取配当金	22
持分法による投資利益	148
為替差益	285
その他	123
営業外収益合計	639
V 営業外費用	
支払利息	146
固定資産除却損	21
その他	19
営業外費用合計	187
経常利益	1,567
税金等調整前四半期純利益	1,567
税金費用	667
少数株主利益	9
四半期純利益	890

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,567
減価償却費	659
のれん償却額	12
持分法による投資損失(△:利益)	△148
退職給付引当金の増加額(△:減少額)	△62
役員退職慰労引当金の増加額(△:減少額)	△89
役員賞与引当金の増加額(△:減少額)	△41
貸倒引当金の増加額(△:減少額)	0
賞与引当金の増加額(△:減少額)	△867
受取利息及び受取配当金	△81
支払利息	146
為替差損(△:差益)	50
売上債権の減少額(△:増加額)	2,943
たな卸資産の減少額(△:増加額)	△53
仕入債務の増加額(△:減少額)	331
未払金の増加額(△:減少額)	△425
その他	168
小計	4,109
利息及び配当金の受取額	69
利息の支払額	△148
法人税等の支払額	△1,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,721

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額(百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1
定期預金の払出による収入	0
有形固定資産の取得による支出	△514
無形固定資産の取得による支出	△123
貸付金の貸付けによる支出	△119
貸付金の回収による収入	8
その他	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△711
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れの純増加額(△:純減少額)	△304
長期借入金の返済による支出	△1
社債の償還による支出	△251
配当金の支払額	△1,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,616
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	259
V 現金及び現金同等物の増加額(△:減少額)	652
VI 現金及び現金同等物の期首残高	32,667
VII 現金及び現金同等物の期末残高	33,319

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	印刷機器関連事業 (百万円)	不動産その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	21,798	278	22,077	—	22,077
(2) セグメント間の内部売上高	—	18	18	(18)	—
計	21,798	297	22,095	(18)	22,077
営業利益	896	218	1,115	—	1,115

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,814	2,885	5,198	2,177	22,077	—	22,077
(2) セグメント間の内部売上高	5,517	1	137	2,242	7,899	(7,899)	—
計	17,332	2,886	5,336	4,420	29,976	(7,899)	22,077
営業利益又は営業損失(△)	1,147	△259	163	167	1,219	(103)	1,115

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	2,885	5,276	2,727	10,889
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	22,077
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	13.1	23.9	12.3	49.3